

## 【幼児に関する関係者評価及び自己評価の分析】

令和4年度調査結果についての集計及び分析が終わりましたのでお知らせいたします。

幼児教育における『保育の質の向上』を目標として始めましたこの調査も14回目を数えました。この間、全体的には毎回殆どの項目で、私どもこまつばら幼稚園に於ける保育目標の到達度に、90%を超える高い評価をいただきありがとうございました。今年度も、感染症対策の観点から、子供たちの行事を止む無く延期せざるを得なかつたり中止せざるを得なかつたりで、園としても若干心残りなところがあり、皆様にご迷惑をおかけしたにも拘わらず、高い評価を頂き強く感謝致しております。様々な活動に対する皆様の高い評価は、私どもに対する励ましの言葉としてとらえ、保育内容及び保育姿勢（資質）の更なる向上を期して日々努力した結果、それなりの成果も得たのだと考えているところでございます。

実際、幼稚園での子どもたちの生活実態は幼児なりに非常にしっかりしてきており、例えば子供によっては「あいさつ」や「片付け」等の基本的な生活面への関りがしっかりしてきて、成長がしっかりと認識できるようになっています。また、子ども同士の関わりも活発で、のびのびした中にもたくましい心が育つと共に項目9の結果のように、他と協調しながら活動する様子も見受けられます。このように、私どもが重点的に関わった結果としての成長は顕著であり、私どもも幼児に対する自分たちの関わり方に対して高い自己評価をしているところでございます。

ところで、2018年「新幼稚園教育要領及び新幼保連携型認定こども園教育保育要領」が発効したことによって、幼児教育の具体的なあり方の見直しが求められている所ですが、本園と致しましては、子ども達の自主的な行動の醸成をという保育方針を基に、子どもの持つ様々な発想を生かすべく新しい保育方法を模索し取り組んでいる所でございます。例えば、今実践している「自らあいさつをする意識の高まりをさらに進める運動」の推進や、泥団子づくり等の『土遊び』活動をすることで『脳の活性化やコミュニケーション能力の醸成』を推進することなどで、この様な子供たちの好奇心等を高める活動が項目7の評価につながったものと考えております。今後も、子ども達の創造性を培う場としての築山の整備や、体力向上にもつながる大型遊具施設の設置など、創造性を培う施設・設備等の環境の整備をさら進める所存でございます。

さて、項目11番「この一年、期待する成長をしている。」項目に対してもほぼ全ての方々が高く評価しておられました。とっても嬉しい事だと心より喜ぶと共に、様々な基本的生活習慣行動が子ども達にもそろそろ習慣化されてきたのかなと思うところでございます。

「幼児に関する実態調査」にご協力いただき本当に有難うございました。

### 調査結果 ※「高く評価」「普通に評価」の割合

単位: %

No.	項 目	令和3年度 保護者評価
1	園は、園行事や保育の様子など、子どもたちの保育活動の様子についてよく <b>知らせている。</b>	<b>91.4</b>
2	園は、異文化に触れるための英語指導、年間を通したスイミングスクールでの水泳など、 <b>特色のある保育活動</b> を行っている。	<b>96.5</b>
3	園は、様々な施設・設備(汽車・アスレチック施設など)等教育環境を整えて、園での生活が子どもたちにとって <b>楽しくなるように</b> 努めている。	<b>97.5</b>
4	担任は、 <b>家庭への連絡</b> (園便り及びクラス便りや状況によっては電話など)をきめ細かく行っている。	<b>98.5</b>
5	園は衛生面を含め食の安全に気を付け、 <b>栄養のバランスを考えた完全給食</b> を行うとともに、毎年子どもたちが喜ぶ新メニューを工夫して取り入れるなど、食育に力を入れている。	<b>97.4</b>
6	園は、園児の安全や <b>事故防止</b> に努めている。	<b>96.4</b>
7	子どもは <b>保育授業が楽しい</b> ようだ	<b>99.5</b>
8	子どもはおうちでも <b>あいさつ</b> を良くしている	<b>90.9</b>
9	子どもは、友だちを大切に、 <b>仲良く</b> することができる。	<b>97.9</b>
10	子どもは交通安全のきまり等、 <b>約束事をしっかり守って</b> 生活している。	<b>97.5</b>
11	この一年、期待する成長をしている。	<b>98.5</b>